

❖共同募金に協力！！

10月4日（金）まだ暑さの残る中、共同募金に参加してきました。

折しも、ラグビーワールドカップ日本開催の年、小田原駅にも多くのサポーター、あるいは観光の諸外国の方々が降り立たれ、汗をかきながら大きな声で募金を呼びかける利用者に足を止めて、募金をされて行かれました。利用者のぎこちない「サンキュー」に笑顔が見られ、きっとその方々の（旅の）良き思い出になったことと、信じております。

善意に国境は無いこと、利用者の一生懸命さにも国境は無いことを教えられた瞬間でもありました。



❖下府中祭に参加！！

10月26日（土）に下府中小学校で行われた「令和元年度 下府中祭」に参加してきました。当日は、雲一つない秋晴れに恵まれ12時15分より同校体育館で地元鴨宮中学校吹奏楽部によるオープニングの演奏を皮切りに、12時50分より模擬店の販売が開始されました。ありんこホームでは、「ありんこ自主製品等の販売」や「ポチ袋の体験コーナー」を設けました。「ありこ自主製品等の販売」に於いては、特に「ありんこ石鹸」のリピーターが多く、固形石鹸があつという間になくなってしまいました。

また、ポチ袋の体験コーナーでは、1年生から6年生の生徒たちが途切れなくポチ袋を作っていく、お母さん、お父さんにプレゼントをすると行って、得意げな顔をしていました。

最後に、今回の下府中祭のテーマ「広げよう地域の輪～深めよう下府中（ちいき）の絆」というように、ありんこホームとして参加して、より地域との絆な深まった貴重な時間でもありました。どうもありがとうございました。



今後の予定

12月7日 県西地区文化事業

20日 ありんこ忘年会

12月28日～1月5日 冬期休暇

賛助会員募集！！

賛助会費（1年）

1）個人：1口2,000円（1口以上）

2）法人・団体：1口5,000円

（1口以上）

お気持ちのある方は各事業所までご連絡ください。

よろしく願いいたします。

※ 振込先 郵便局 通常貯金

記号 10270

番号 15932091

名前 トクヒ オダワラニジノカイ

連絡先

ありんこホーム（就労継続支援B型）

小田原市浜町4-29-1

Tel0465-24-5486 Fax0465-20-5477

第2ありんこホーム（就労継続支援B型・生活介護）

小田原市扇町2-31-5 扇町マンション1階

Tel0465-35-8393 Fax0465-42-9290

第3ありんこホーム（地域活動支援センター）

小田原市鴨宮328 Tel/Fax0465-48-8269

ありんこホームふじみ（就労継続支援B型）

小田原市南鴨宮3-6-11 Tel/Fax0465-46-9109

ありんこホームすまいる（グループホーム）

小田原市南鴨宮1-14-27 Tel/Fax 0465-48-5503

ありんこホームあいりす・なでしこ（グループホーム）

小田原市鴨宮522-2

Tel/Fax0465-46-6427（あいりす）

Tel/Fax0465-46-6438（なでしこ）

第291号

令和元年12月1日発行

ありんこだより

発行 NPO 法人「おだわら虹の会」

〒250-0874 小田原市鴨宮328

TEL/Fax 0465-48-8269

～秋晴れの空の下～ 第8回 あいんこ祭 開催！！

秋晴れの空にお囃子が響き渡り今年も第8回ありんこ祭が盛大に行われました。昨年と同様前日に雨が降り開催が心配されましたが、午後にはあがり当日は夏を思わせるかのような晴天での開催でした。

開会式は、高橋理事長の開会の言葉、そして秋山様、飯田様、関野様、各自治会長の皆様、牧島かれん衆議院議員秘書二本木様、神奈川県議会議員小沢様、佐々木様、小田原市議会議員安野様、神戸様のお祝いの言葉を頂戴し、加藤小田原市長の祝電を披露したのちに、誰もが楽しみに待っていた模擬店とバザーがスタートしました。バザーは既にスタート前から賑わい、模擬店にも利用者さんの元気な呼びかけに応じてか、焼きそば、焼き鳥、豚汁、うどんの各ブースにも長い行列が出来ていました。ハッピー様、ふくらん様のお店も好調で手作りおもちゃとヨーヨー釣りでは子供たちが楽しんでいました。また、公務でお忙しく来場は難しいと連絡頂いていた加藤小田原市長にもご来場頂いて、益々会場内も盛況になって来ました。

ステージに目をやればオープニングはおなじみ小田原囃子保存会「夢」様の演奏、そして今年初参加して頂いた曾我別所寿獅子舞保存会様による獅子舞と続き、次の「lino ありんこ」の発表ではメンバーが日頃の練習の成果を出し切った踊りに、会場内から割れんばかりの大きな拍手を頂きました。祭も終盤となり今年のフィナーレを飾ったのは「きよしのズンドコ節」の輪踊り！アンコールの2回目ではさらに大きな輪となり終了と同時に会場全体に歓喜の声が響きわたりました。

今年もご協力頂きましたボランティアの皆様、関係者の皆様、家族会の皆様、並びにありんこ祭に来て頂きました近隣の皆様、また後援頂いた小田原市、そしてご協力を頂いた全ての皆様方に心より感謝とお礼を申し上げます。



加藤小田原市長



おざわ県議



佐々木県議



安野市議



神戸市議



秋山様



関野様



飯田様



高橋理事長



❖おだわら城下町ツーデーマーチに参加！！

少し暖かくも感じる秋晴れの朝を迎えた１１月１６日（土）、おだわら城下町ツーデーマーチに利用者と職員、合わせて６０名が参加しました。当日はウォークラリーと豚汁販売とに分かれての参加でした。ウォークラリーのコースは１０Km、６Km、ありんこ特別コースの部が設定されており、参加した利用者の皆さんはそれぞれは無理なく楽しめるコースを選んで参加されていました。

このツデーマーチは全国でも展開されており、小田原市開催のツデーマーチは全国で5番目に参加の多い大会で、今回の参加者は5, 000人以上だったようです。

例年人気の豚汁販売は、2日間で600食の豚汁を販売予定で、前日にありんこホームふじみへ7名のボランティアの方が来てくださり、2日分の野菜を手分けをして切っていただきました。ふじみの職員は野菜洗いを、利用者は大根の皮むきを手伝い、午前中には作業を終える事が出来ました。お陰様で豚汁も家族会の方に協力頂いた味噌田楽も大人気で、早々に完売しました。

ウォークラリーのいずれのコースにもボランティアの方が参加し支援をしていただきました。各コースとも皆まとまってスタートをし、歩く速さの違いもありましたが、車いすで参加利用者を中心に歩き、無事に小田原城にゴールすることができました。

ウォークラリー参加者は例年のようにありんこホームの旗のもと、風魔忍者の衣装に身を包み歩きました。沿道から「頑張ってください」の声援も多くいただきました。

ボランティアの皆さま、本当にありがとうございました。また家族会の皆さまそして完歩した皆さま、本当におつかれさまでした。



❖神奈川県タクシー協会「善意の箱基金」拝受

去る11月1日、小田原市民交流センター「UMECO」において、神奈川県タクシー協会「善意の箱基金」贈呈式が行われました。

この基金は神奈川県タクシー協会がハイヤー・タクシー事業の公共性に鑑み、これまで多方面に援助活動が続けてこられました。今年度は小田原支部のご推薦をいただき、県西地区の障害者支援事業所5団体が対象となり、当ありんこホームもご寄付いただくことになりました。

ありんこホームの毎日の活動がこのように評価いただいたことを喜ぶとともに、身に余るご寄付をお受けしたことをご報告し、タクシー協会様に感謝申し上げます。このことを励みに、今後も地域との交流を大事にし、地道な活動を続けていきたいと改めて思いました。



❖今年も大盛況でした！ ～あしがらアート・の森～

11月10、16、17日の3日間、今年も旧足柄北中学校であしがらアートの森が開催され、学校中に飾られた多くの芸術作品や、ワークショップが出店される中で、ありんこホームもバザーの出店をさせていただきました。

今年は総勢2600名の来場者があったそうで、大変なにぎわいでした。小さなお子様連れのお客様が多く、「ありんこホームってなあに？」と質問して下さるお客様も沢山いらっしゃいました。ありんこホームの活動を知っていただく良い機会でした。来年もまた開催されると思います。とても楽しめる場所だと思いますので一度訪れてみてはいかがでしょうか。



❖小田原市障がい者レクリエーション大会

10月27日（日）県立西湘地区体育センターに於いて行われた
特定非営利活動法人小田原市障害者福祉協議会主催の第23回小
田原市障がい者レクレーション大会に、利用者・ご家族・職員合
わせて63名で参加させていただきました。

オープニングは、えん舞連による「えっさホイおどり」・デモン
ストレーションは、T S Aバドミントンクラブの皆様によるバドミ
ントンの試合等、屋内・屋外で様々なスポーツ・アトラクションを
楽しむことができました。



障がいの有無に関わらず
沢山の方々が一緒に体を動か
かすことができるイベント
だと思いました。

特定非営利活動法人小田
原市障害者福祉協議会及び
関係者の皆様、楽しいひと
時をありがとうございました。

❖小田原市障害者自立更生者表彰を受ける

小田原市障がい者レクリエーション大会の開会式に於いて、小田原市障害者自立更生者の表彰式が行われ、今年はありません。こホームの富松京子さんが、障害者当事者団体での活動や自立へ向けた日々の活動が認められ表彰者に選ばれ、加藤憲一小田原市長より表彰状を授与されました。これは毎年各障害者団体が推薦した方の中から、小田原市がその功績を評価し表彰するもので、今年は

「小田原市肢体不自由児者父母の会」を通じて富松さんを推薦して頂きました。授与後「これからは障害者が少しでも暮らし易い社会を目指した活動を含め、私なりに精一杯頑張っていこうと思います。」と抱負を述べてお礼の挨拶をしました。

推薦して下さった「小田原市肢体不自由児者父母の会」の瀬戸会長並びに小田原市しょう害福祉課の方々に心よりお礼申し上げます。

